CASP-2-1

305713

□要

□明

CASP-2-1□胞株は、組織再構成法を用いてアンドロゲン依存性の原発腫瘍から樹立された、遺伝的に特徴づけられたマウス前立腺上皮 □胞株である。 CASP-2-1は、CASPシリーズの前立腺がんモデルの一部であり、このシリーズは、分離した胚の尿生殖洞間葉組織と前立腺腫瘍上皮□胞を組み合わせて作製されたもので、生体内での管腔形成および上皮性の検証が可能となっている。 CASP-2-1 □胞は、E-カドヘリンなどの上皮マーカーを発現しており、少なくとも 30 回の継代にわたって安定した増殖を示します。また、in vitro での接着非依存性増殖や、マウスへの同所性注入後の腫瘍形成により、一貫した腫瘍形成能が実証されています。
CASP-2-1の決定的な特徴は、アンドロゲン応答性を保持している点である。他のいくつかの CASP系統とは異なり、CASP-2-1はアンドロゲンに依存して増殖し、ジヒドロテストステロン（DHT）の存在下でアンドロゲン応答性プロモーター要素の活性化を示す。 この□胞株は、検出可能なAR変異を認めず、mRNAおよびタンパク質レベルの両方で野生型のアンドロゲン受容体（AR）を発現している。さらに、CASP-2-1はPten遺伝子においてヘテロ接合体であり、中程度のレベルのリン酸化Akt（p-Akt）を示しており、PI3K/Aktシグナル伝達経路の部分的な活性化が示唆される。 これらの特徴により、CASP-2-1は、前立腺がん、特に早期段階またはアンドロゲン感受性疾患の文脈において、ARシグナル伝達とPten依存性発がん経路との相互作用を解明するための貴重なモデルとなっている。

ティッシュ	前立腺
病気	癌腫

用途

がん研究

分類

生物	マウス
セックス	未指定
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	2

特徴

形態学	上皮
細胞の種類	上皮□胞
腫瘍形成性	はい

識別子

引用

CASP-2-1（Cytion カタログ番号 305713）

NCBI 納税者番号	10090

発現と感受性

タンパク質の発現

AR ′ Pten

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

取り扱いと飼育

培養雰囲気	37℃ ´ 5%CO2、加湿雰囲気。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 200 x g for 5 minutes, carefully discard the supernatant containing freezing medium.
Follow the procedure described under Post-Thaw Recovery

品質管理と凍結保存

凍結培地	凍結保存培地としては、解凍後の生存率を十分に高めるため、完全増殖培地＋ 10％DMSOを使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	胚

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

商品詳細

構成表

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB